

### 3章 基本方針の策定とコンセプトの設定

#### 1. 方針策定の着眼点

2章で整理した国の動向や美瑛町の現状・課題から、以下の通り方針策定の5つの着眼点を整理した。

住民ファースト  
のまちづくり

- 人にやさしいまちづくり
- 地域コミュニティの強化
- 子育て環境の充実
- 多世代異文化交流の促進
- 全ての人の居場所づくり

「丘のまちびえい」  
ブランドイメージ  
のさらなる  
磨きあげ

- 丘のまちブランドの磨き上げ
- 景観に配慮した道路空間の創出
- 都市空間の高質化
- 地域の歴史文化学習
- 国際化への対応

持続可能な  
観光振興、  
交流人口の  
拡大

- 関係人口の創出
- 新たな働き方・休暇の楽しみ方提供  
(テレワーク・ワーケーション)

農林業の振興、  
中心市街地活性化  
につながるまち  
の拠点形成

- 地産地消・地域内経済循環の促進
- 農林観商業の連携による外貨獲得
- チャレンジイノベーションを生むまちづくり
- 人と人がつながる場づくり
- 移住・定住・地域居住の推進
- ライフスタイルの変化への対応

持続可能・  
脱炭素・強靱化・  
効率的で  
コンパクトな  
まちづくり

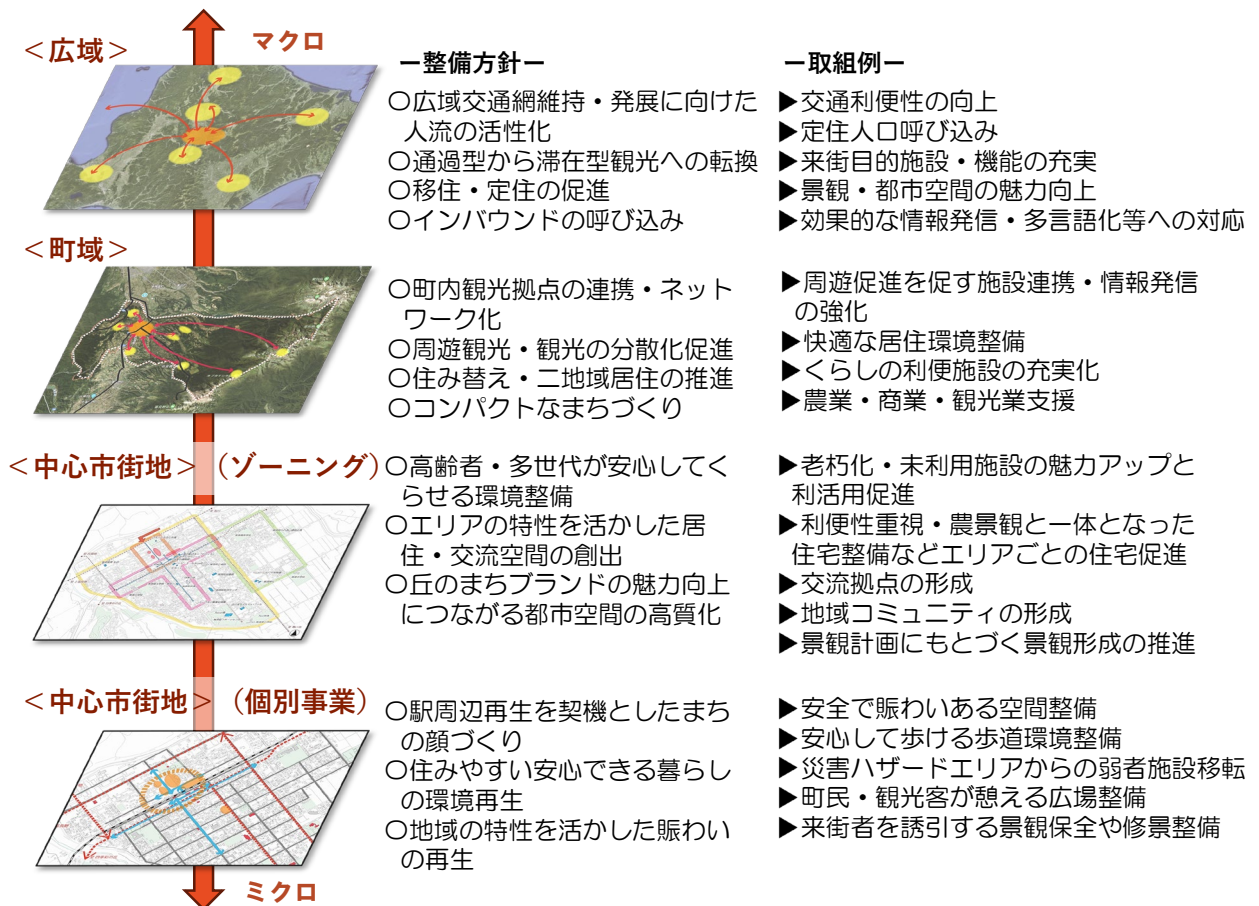
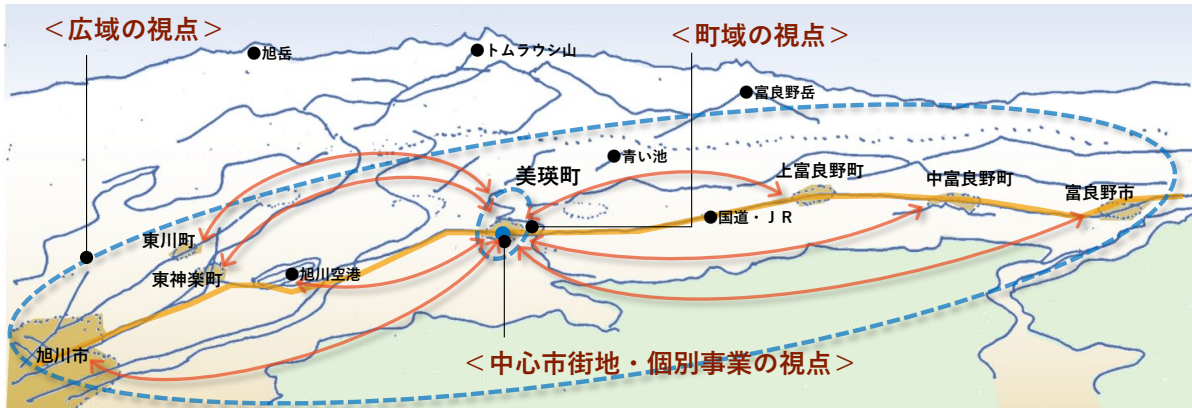
- 脱炭素への対応
- 森林資源循環・エネルギー活用
- 公共交通網の維持利用促進
- 環境にやさしい交通手段の促進
- 防災・減災対策と意識啓発

## 2. 整備方針の策定

方針を検討するにあたり、以下のことに考慮した。

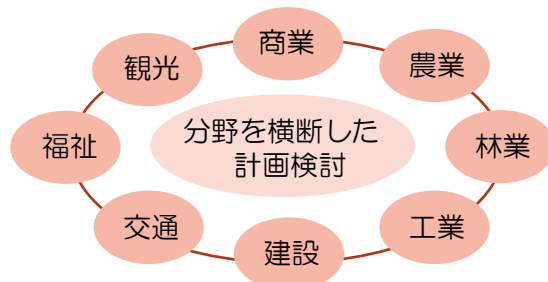
### (1) マクロな視点から個別事業まで、整合性・相乗効果を考慮した方針検討

美瑛町中心市街地活性化整備基本計画を検討するにあたっては、中心市街地のみならず、近隣市町村を含む広域な視点から、美瑛町全体を見渡す町域の視点、個別事業の対象地域である中心市街地の視点へと、マクロからミクロの視点で見ることで、取り組みの整合性や相乗効果を考慮した検討を行う。



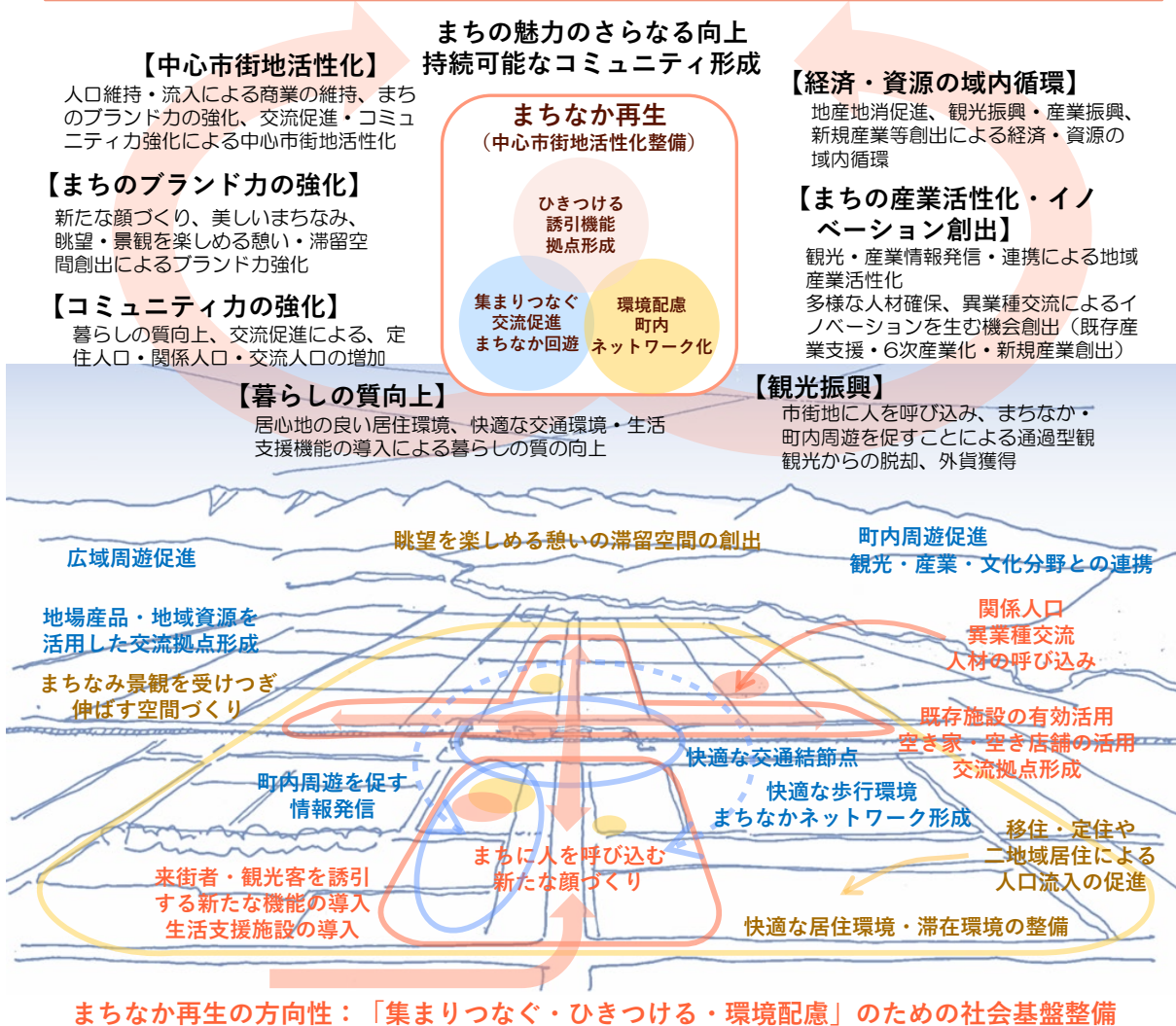
(2) 様々な分野を横断した計画検討

基本計画では様々な分野を横断した取り組みを検討することから、既存の協議会や幹事会など同様、多分野の方々をメンバーとした会議の場を設け、計画の検討を行う。その上で、ヒアリングや意見交換等を通して、各関係機関と連携を図りながら、調整や情報収集し、検討を進める。



(3) 中心市街地活性化整備のテーマと活性化の方向性

**テーマ：居心地のよい環境づくりがまちの好循環を生むまちなか再生**



集まり  
つなぐ

### 人々の交流促進と まちなかの回遊性向上

人々の交流促進を促す、滞留したくなる居心地の良いまちなかの拠点施設と、既存利便施設を快適につなぎ、まちなかの回遊性を高める  
高齢者を中心にまちなか居住を進め、歩いて快適に暮らせるまちへ

- ▶多世代が集まりコミュニティ形成を促す拠点づくり
- ▶快適な歩行空間の整備
- ▶まちなか居住環境や買い回り機能の充実

ひき  
つける

### まちのブランド力を高め 人をひきつける機能の導入

資源を最大限活かし、まちの良さをもっと引き出し・使いこなすことで、まちに人を呼び込む

交通発着拠点に効果的に情報発信する機能もたせる

- ▶地場産品・地域資源を活用した拠点形成
- ▶空き家空き店舗活用による誘引拠点・生活支援機能の導入
- ▶関係人口・異業種交流を受け入れる受け皿づくり
- ▶交通結節点での観光・産業・文化情報の発信

環境  
配慮

### 環境に配慮した快適に 楽しく過ごせる環境づくり

持続可能な循環型社会を目指した、まちなかにおける積極的な環境配慮の取組実施

快適な交通ネットワークを形成し町域周遊を促す

- ▶ゼロカーボンステーションの取組実施
- ▶さらなるサイクリング需要を喚起するサービスの充実
- ▶快適な町域周遊のためのネットワーク化



(4) 中心市街地のゾーニングと社会基盤整備の方向性

「集まりつなぐ・ひきつける・環境配慮」の3つのまちなか再生の方向性に沿った社会基盤整備のイメージを、美瑛町中心市街地のゾーンごとの特性を踏まえて落とし込み、各ゾーンで行うべき社会基盤整備に求められる方向性を整理した。

「集まりつなぐ・ひきつける・環境配慮」のための社会基盤整備

集まりつなぐ

人々の交流促進と  
まちなかの回遊性向上

ひきつける

まちのブランド力を高め  
人をひきつける機能の導入

環境配慮

環境に配慮した快適に  
楽しく過ごせる環境づくり

中心市街地への落とし込み

●ゾーニング図

新たな暮らしとにぎわい形成ゾーン

- ・官民連携による多様な住環境整備
- ・広域来街者を迎え入れる顔づくり
- ・利便性の高い交通結節点の整備
- ・観光客を誘引する施設整備, 事業の展開
- ・地産地消型マルシェの展開
- ・高ポテンシャルな場への投資と活用の推進
- ・滞留したくなる居心地の良い空間づくり
- ・町域周遊を効果的に促すハブ機能の形成

コンパクトな暮らしとまちなか周遊ゾーン

- ・まちの資源を活かした内部充実型のまちづくり
- ・ブランド力を高めるまちなみ景観を受け継ぎ伸ばす
- ・歩いて暮らせる安全安心なまちなか居住の推進
- ・つながりやイノベーションを生む交流の拠点整備
- ・のびやかな土地を感じる眺望や景観のある場づくり
- ・回遊性を高める中間領域「まちの縁側」の展開
- ・すべての人が安心して歩ける歩道の整備
- ・まちなかの暮らしの脱炭素化、資源の地域内循環化
- ・官民連携による多様な住環境整備



既存中心市街地の魅力UPゾーン

- ・まちの資源や強みを引き出し使いこなす取組の展開
- ・関係人口, 異業種交流を受け入れる受け皿づくり
- ・起業/創業希望者を呼び込む環境整備
- ・歩きたくなるウォーカブルなまちなかネットワークの形成
- ・地産地消による地域内経済循環の仕組みづくり